

## 平成26年1月28日 会頭記者会見 発言要旨

### 時事の話題

#### ■景況について

2014年の景気展望は、消費税増税を控え、1-3月期は駆け込み需要の影響で消費意欲が高まるが、4月以降はゆるやかな景気の落ち込みを想定している。しかし、輸出や設備投資、賃金改善による一般消費がけん引して、緩やかに景気の回復が続くとみており、今年の後半には株価も高まるだろう。また、成長戦略の実行が重要であり、その真価が問われる1年になる。今年6月に打ち出される新成長戦略では、大胆な規制・制度改革や法人実効税率の引き下げにまで踏み込んだ内容になることを期待している。本格的な成長戦略が実行され、景気の明るさが地域経済や中小企業にまで行き届くよう、政府には経済最優先を貫いていただきたい。

### 京都商工会議所の動き

#### ■パリでの視察報告

1月21日から4日間パリを訪問し、パリ商工会議所と懇談するとともに、本所が出展する展示商談会「メゾン・エ・オブジェ」を視察した。1月24日には、パリ商工会議所でガイイ会頭、メレリオ副会頭との懇談の場を持つことができた。京都での知恵産業の取り組みを知っていただくとともに、両都市の共通のテーマである職人や若者の相互人材交流を図ることなど、次につながる有意義な意見交換を行い、活動を充実させていくことに合意した。なかでも、ガイイ会頭の「職人なくして伝統なし、伝統なくしてパリはない」という発言は、京都にも当てはまるものであり、職人の知恵や、匠の技が付加価値の源泉になっていると改めて感じた。

メゾン・エ・オブジェの主催者との懇談会では、京都の商材のレベルの高さを評価いただいた。昨年のメゾン・エ・オブジェに出展されていた京都企業の商品がパリの百貨店でも販売されているのを偶然に見つけることができ、こうした地道な活動の成果が浸透していることを実感した。

#### ■今年の抱負

先日の年賀交歓会の冒頭で、2014年は研究開発の「R&D」に事業化を意味するエンタープライズの「E」を加えた「R&D+E」を合言葉に、新たな事業創造に挑戦したいと申し上げた。これまで国や自治体による産学公連携の組織や拠点の整備が着々と進められ、多くの優れた事業シーズが成果として生み出されてきた。しかし、その成果は事業創造に結びつき、社会ニーズに具体的に貢献することで、はじめて評価される。今年から第3の矢の成長戦略がスタートするが、これをチャンスに、我々は京都の先端的で独創的な事業シーズを活用した新たな事業創造、即ちエンタープライズを実践していかなくてはならない。

これまで大学や行政を中心に推し進めている「R&D」の取り組みを事業化していくためには、そのつなぎ役を果たす京都産学公連携機構の役割が非常に重要であり、今年はその事務局体制を更に強化していきたい。事業面では「未来技術交流会」を通じて、「研究開発成果」を「事業」に結実させるために、オール京都で効果的な支援を展開し、大学と中堅・中小企業の間で自由闊達な議論が展開されることを期待している。

知恵ビジネスに目を向ければ、キラリと光る技術や素材を持ちつつも、なかなか事業に結び付けられずにいる企業がある。自社が培ってきた知恵は、いわば「R&D」に該当する。それ

を顧客ニーズに即した「+E」の取り組みに飛躍させるためには、新たな価値創造に取り組む「知恵」を発揮していく必要がある。本所はこれまで、様々な知恵ビジネスの取り組みを展開し、その支援内容も充実してきた。今後は出口戦略として販路開拓支援を強化し、関係機関を巻き込みながら、新たな展開として、首都圏やアジアへの販路開拓事業に取り組みたい。

今年で5回目となる「知恵ビジネスプランコンテスト」では、新たな社会ニーズに対応したプランが多く寄せられている。3月4日に開催する「京都・知恵ビジネス大交流会」において、今回認定するプランの表彰式とプレゼンテーションを行う予定である。

### **記者からの質問事項**

#### **■パリと京都の商工会議所の連携について、もう少し具体的に教えてほしい。**

まだ具体的に決まっていない。福永副会頭が国際交流担当の立場で窓口となり、今後、事務局同士で具体的に検討、打合せを進める。

#### **■首相の靖国神社参拝があったが、日中、日韓関係の悪化による京都企業への影響はあるか。**

政治的な話題と捉えている。京都企業への影響については具体的に調査していない。

#### **■王将フードサービスの大東前社長の殺害事件に関して、企業トップを守るためのリスク管理についてどのようにお考えか。**

心よりご冥福をお祈りしたい。一刻も早い事件の真相解明を祈っている。リスク管理は経営の最も重要な点であり、大手企業ではさまざまな仕組み・制度を設けている。中小企業においても、警備保障という観点から企業トップのリスク管理体制が整備されていくことを期待している。

#### **■外資系のホテルが京都に進出することについて、どのようにお考えか。**

「京都ビジョン 2040」で掲げた「世界交流首都・京都」の実現を目指し、MICE を充実させる上で、京都のホテルの整備は必要不可欠である。ホテル経営で先端をいく海外のホテルの進出は、京都観光にプラスにはたらき、「京都ビジョン 2040」の実現に大きな効果を発揮するだろう。

以 上

## 京都ブランド海外市場開拓事業「Kyoto Connection」 出展報告

京都商工会議所及び京都市では、海外展開を目指す京都の中小企業に対して、現地ニーズにマッチした新商品の企画・開発、バイヤー向け展示商談会の開催や世界的見本市への出展、そのアフターフォローに至るまでの一貫したサポートをきめ細かにを行い、京都の文化と都市格を支える京都ブランドの海外市場開拓を強力に推進する「京都ブランド海外市場開拓事業」を実施しています。

その中で、本所が取り組んできた「Kyoto Connection」では、京都が誇る技術や素材を駆使したインテリア・ホームデコレーションアイテムを開発し、パリで開催された展示商談会（MAISON&OBJET 2014）に出展しましたので報告します。

### 1. パリ展示会出展の概要

MAISON&OBJET 2014（メゾン・エ・オブジェ 2014）

会 期 平成 26 年 1 月 24 日（金）～28 日（火）

会 場 PARIS NORD Villepinte（ノールヴィルパント見本市会場）

出展分野 インテリア全般、ギフト、雑貨、テーブルウェア、テキスタイル、家具等

出展ブース Ha117 インテリアシーン 出展小間数：4 小間

昨年度実績 総入場者数：7万6,149人

フランス国内からの来場者：3万8,560人（バイヤー69%、プレスクリプター31%）

フランス国外からの来場者：3万7,589人（バイヤー68%、プレスクリプター32%）

### 2. 参画事業者及び開発商品（8社・順不同）

川並鉄工(株)（特殊加工を行った金属パネル）、京朋(株)（京友禅の技法を生かしたクッション、ファブリック）  
 京洛工芸(株)（象嵌の技法を生かしたパネル）、Kyoto Contemporary Project（京焼清水焼と京漆器）  
 遊禅庵(株)（草友禅染を生かした小物、素材）、吉川染匠(株)（京友禅を生かしたボタン、ファブリック）  
 渡文(株)（西陣織のファブリック）、(株)丸二（京からかみを生かした壁紙、パネル）



立石会頭、福永副会頭  
メゾン・エ・オブジェ見学



パリ商工会議所との朝食懇談会



メゾン・エ・オブジェ主催者と

### 3. 商談結果（速報値）

1月26日時点における商談結果は下記の通り。

商談件数 276件、成約見込金額 6,200万円

以上

# 京都・知恵ビジネス大交流会2014

## 『勝ち残る中小企業に求められる改革と挑戦』

京都商工会議所では、京都に生き続けるさまざまな知恵や自社の強みを生かして、新たな顧客創造を図ろうとするビジネスを応援しています。京都ならではの知恵を持った事業者が一堂に会する大交流会で、貴社の「知恵の使いどころ」や「強み」について考えてみませんか。当日は、第5回知恵ビジネスプランコンテスト認定プランの表彰・プレゼンテーションも実施いたします。

日時

平成 26 年 3 月 4 日(火) 14:30～19:00

定員

300 人(先着順)

会場

京都ホテルオークラ(4階)「暁雲の間」 [京都市中京区河原町御池]

参加費

無料 ※ビジネス交流懇親会は、参加費 2,000 円(当日、会場で拝受いたします)

内容

14:30～

### 記念講演「勝ち残る中小企業に求められる改革と挑戦」

講師: 財部 誠一氏 (経済ジャーナリスト)

1956 年東京生まれ。慶應義塾大学卒業後、野村證券に入社。退社後、出版社勤務を経て経済ジャーナリストに。テレビ朝日「報道ステーション」などTVやラジオでも広く活躍中。また、政策シンクタンク「ハーベイロード・ジャパン」を主宰し、各種の政策提言を行っている。『メイド・イン・ジャパン消滅! ～世界で戦える「製造業」をどう守るか～』(朝日新聞出版)など著書多数。



### 第5回知恵ビジネスプランコンテスト認定式・発表会

17:30～

### ビジネス交流懇親会 ※有料(1人2000円・当日現金)

認定プラン事業者をはじめ、京都で新しい試みに挑戦する事業者の情報交換会

申込締切

2 月 28 日(金)

申込方法

FAX、E-mail、本所ホームページからお申込みください <http://www.kyo.or.jp/kyoto/>

主催・お問い合わせ

京都商工会議所 知恵産業推進室

TEL 075-212-6470

FAX 075-212-8871

E-mail bmpj@kyo.or.jp

## 京都・知恵ビジネス大交流会 2014 申込用紙 (FAX:075-212-8871)

貴社名: \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_ Eメール: \_\_\_\_\_

御出席者

御所属・御役職	御芳名	交流懇親会(いずれかに○)
		参加 不参加
		参加 不参加
		参加 不参加

※ ご記載頂いた個人情報、本所事業の実施運営にのみ利用します。